



Index

● 医師紹介
小児科 Dr.● 部署紹介
外来

● お知らせ

● 知って得する医療情報
診療放射線部● 職員紹介
新入職員紹介
新任医師紹介● 連携医療施設の御紹介
特別養護老人ホーム金峰苑

● イベント活動報告

● 薩南っ子ページ

● みっちゃんのおすすめ本

● 委員活動

● 編集後記

QRコードから
バックナンバーを
閲覧できます。

今回の表紙

前列右から：指宿医師（消化器内科部長）、羽田医師（消化器内科）
後列右から：井料、本村、松崎、鐘撞（師長）、永仮、中島、
最後列右から：彌勒、今井

イラスト：MAYA

外 来

部 署 紹 介



永 仮 さん 外来副看護師長

薩南病院は地域の皆様に信頼され、安心して医療を受けられる病院を目指しています。

当院は地域医療支援病院の指定を受け、地域のかかりつけ医と医療の機能や役割を分担することで、地域医療を効果的に進められるよう努めています。現在は人工透析内科・外科・内科・消化器内科・循環器内科・小児科・産婦人科・放射線科・麻酔科の8つの診療科で診療を行っています。今年度から、小児科外来診療日が拡充され、第4水曜日の午後も診療可能となりました。

また、特殊外来として糖尿病・肝臓病・ペースメーカー・緩和ケア・乳腺・呼吸器外科外来に加え、6月より形成外科外来（月2回）が開設され、7月からは禁煙外来も再開となり、より専門性の高い医療が提供できる体制となりました。人間ドック・健康診断・特定健診なども行っております。外来受診に際しましては、初診受付時間を十一時までとさせていただきます。



小児科医師 関 俊二 先生

県立薩南病院・小児科について

2026年4月より鹿児島県立薩南病院へ小児科医として赴任しました関俊二です。まずは当院小児科の紹介ですが、当院では平日の午前中のみ一般外来を行い、午後からは予防接種や健診、定期受診の予約患者さんや、入院患者さんの診察などを行っています。定期受診の患者さんには、心臓、腎臓、てんかん、膠原病など定期的な診察もしくは薬の内服が必要な方がいらっしゃいます。

また、私が小児循環器という心臓を診る専門なので、今年度からは心雑音の精査や、心臓検診の二次検診なども受け入れていきます。

地域のクリニックと連携しながら、南薩地域の小児医療をこれからも支えてまいります。

知って安心！
外来とスタッフのご紹介

いただいた診療や検査は再診予約制となります。予約変更のご連絡は、午後2時から5時の間にお願います。地域の皆様にはご不便な点もあるかと思いますが、ご理解の上、ご来院ください。

外来では看護師の他に、医師の診療の事務を担う医師クラークや看護の補助を担う事務員など様々な職種が連携し、検査や治療・診療がスムーズに行われるよう協力しています。その中の取り組みの一つとして、来院時間の適正化があります。これは患者さんの待ち時間短縮と採血室の混雑緩和を目的としております。そのため、現在は来院された順ではなく、診療予約時間に合わせた採血室のご案内をしています。で、ご協力をお願いします。

これからの外来スタッフ一同、日々の業務の中でより良くできるところはないか気付く視点や、変化を受け入れる柔軟性を持ちながら、来院される患者さんに丁寧な接遇と安心できる環境が提供できるよう努めてまいります。

気になることやお困りごとがありましたら、どうぞお気軽にスタッフへお声かけください。

忘れられない症例

小児科は「投資の医療」だと、以前上司から教わったことがあります。

子どもの頃に適切な医療を受け、元気に成長していく。その姿を何年後にも後になって見ることができると、小児科の醍醐味であり、医師としての喜びでもあります。自分が積み重ねた診療が、未来の子どもたちの健康につながっていく。その意味で、小児科はまさに「未来への投資」と言えるのかもしれません。

この言葉を聞くたびに思い出す症例があります。

その患者さんは、生後3週間の新生児でした。保護者の方からは、「いつもなら哺乳から2時間ほどで泣くのに、今日は3時間経っても泣かない」という相談でした。診察室で見た第一印象では顔色も悪くなく、ぐったりしている様子もありません。哺乳量もほぼ普段通りとのこと、当初は大きな問題はないかもしれないと考えていました。

しかし、診察を進める中で、どうも心臓の音が聞き取りにくいことが気になりました。新生児はもとともと脈が速く、聴診が難しいこともあり。それでも何か引っかかるものがあり、念のため普段であれば行わない心電図検査を実施しました。

すると、その結果に驚かされました。新生児では比較的まれな頻脈発作を起こしていたのです。さらに心エコー検査では、心臓の働きが低下し始めている所見も認めました。すぐに専門的な治療が可能な医療機

外来からのお知らせ

● 形成外科外来を開設しました。

きずあと、できもの、とこずれ、巻き爪、まぶたが重いなど、気になる方はぜひご相談ください。

【診療日】 第1・3月曜日
【診療時間】 午前10時～午後4時



● 小児科外来診療日を拡充しました。

令和8年5月より、毎月第4水曜日は午後1時30分～午後4時も小児科のみ外来診療を行っています。



※予約・お問合せ：平日の午後2時～午後5時



電話 0993-53-5300



みなさまこんにちは。
薩南病院、放射線部です。当院では今年度から条件付きペースメーカー挿入中でもMRI検査が可能となりました。

MRI検査とは強い磁気を利用して行う検査です。レントゲンやCT検査と異なり放射線を使用しないため被ばくはありませんが、磁気を使用しているため検査室内に金属製の物を持ち込むことができません。そのため、従来ペースメーカーを挿入中の人はMRI検査をすることができませんでした。しかし、近年条件付きMRI対応ペースメーカーの普及により、一定の条件を満たした場合に限りMRI検査をすることが可能となりました。

ただし、一定の条件を満たしていても検査の前後に専門スタッフによるペースメーカーの点検や設定変更等が必要になります。そのため、通常のMRI検査よりもお時間をいただく場合があります。

ペースメーカー挿入中でも条件付きでMRI検査が可能になりました。

条件付きMRI対応ペースメーカーであっても、MRI装置の機種や検査内容によっては検査できない場合がございますので、あらかじめご了承ください

がありますのでご了承ください。また、MRI検査を安全に行うために事前にペースメーカーの有無を確認して入中の方は予約時に必ずお申し出ください。その際はペースメーカー手帳もご持参をお願いいたします。

当院ではトレーニングを受けたスタッフが連携し、安全に十分配慮したうえでMRI検査を受けていただきます。ご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせください。

ペースメーカーを入れている方も

MRI検査を受けられるようになりました

条件付きMRI対応ペースメーカーの普及により、一定の条件を満たすことでMRI検査が可能になりました。安全に検査を受けていただける体制を整えています。

安心して、必要な検査を。

条件を満たすことでMRI検査が可能に

特定の条件下でMRI検査を受けることができるペースメーカーです。当院では、下記の条件を満たす方に検査を実施しています。



※すべてのペースメーカーがMRI検査に対応しているわけではありません。

MRI検査までの流れ

- 1 予約・申告
予約時にペースメーカー装着の有無をお申し出ください。
- 2 事前説明・確認
医師・スタッフが検査の内容及び注意事項について、事前にご説明します。
- 3 機器の確認・設定変更
ペースメーカーの状態を確認し、MRI検査に適した設定に変更します。
- 4 MRI検査の実施
定められた条件のもと、スタッフが常に監視しながら検査を行います。
- 5 検査後の確認
検査後にペースメーカーの設定や動作を確認します。

MRI検査を受ける際のお願い

- 安全に検査を実施するため、予約時にもペースメーカー装着の有無を確認しています。
- 安全に検査を行うため、事前に十分な説明を行っています。
- ペースメーカー手帳を必ずご持参ください。
- 検査当日は、金属類（時計・アクセサリ・補聴器など）を外していただきます。
- MRI室内には時計、アクセサリ、補聴器などの金属類を持ち込むことはできません。

安全に配慮し、安心して検査を受けていただける体制を整えています。
安心して検査をお受けください。



予約時にペースメーカーを装着していることをお申し出ください。

地域の皆さまが安心して必要な医療を受けられるよう、安全で質の高い検査を提供してまいります。

新入職員の紹介

- ①所属部署・職種 ②入職後一番印象に残っていること
③わたしってこんな人 ④こんな医療従事者を目指します！

【3階病棟】

たけやま かほ
竹山 佳歩

- ①看護師
- ②病院のキレイさにビックリしました。
- ③海外旅行が好きです。今年はオーストラリアに行くのが目標です！！
- ④様々な分野にも対応できるグローバルな看護師を目指します！

【リハビリ室】

こなか さくらこ
小中 桜子

- ①作業療法士
- ②臥床傾向であった患者さんが日に日に動けるようになり表情も明るくなってきたこと。
- ③基本インドアですが、外出したときはカメラで写真撮影することが好きです。
- ④退院後もその人らしい生活が送れるよう、患者さんのニーズに合わせたリハビリが提供できる作業療法士を目指します。

【中材・手術室】

たなべ あんず
田邊 杏

- ①看護師
- ②初めての手術室勤務で、不安や緊張が大きかったが、先輩看護師に、「一緒に成長していこうね」と声をかけてもらったこと。
- ③患者さんとお話しする時間が好きです。
- ④患者さんやご家族に寄り添い、信頼してもらえるように頑張ります。

【4階病棟】

ふくもり ちあき
福森 智章

- ①看護師
- ②病院が新しく広いことに驚きました。綺麗な病院で働けて嬉しいです。
- ③ゲームや体を鍛えることが好きです。あと、最近は釣りにハマってます。
- ④循環器看護師として、まずは心電図を読み、理解出来るようになりたいです。

【5階病棟】

しもの だいち
下野 大伍

- ①看護師
- ②外科・消化器病棟の配属となり、急性期患者さんの状態変化の早さや入退院の多いことが印象に残っています。
- ③スポーツ観戦が好きで、球技・陸上などなんでも観ます。
- ④一つ一つの経験を積み重ね、患者さんに安心してもらえる看護が出来るよう頑張ります。

新任医師の紹介

①専門分野 ②認定医・専門医 ③わたしってこんな人 ④薩南病院の魅力

【産婦人科 医師】

はやし ひさお
林 久雄

- ①産婦人科
- ②産婦人科学会専門医
今年度指導医見込み、母体保護法指定医、日本周産期・新生児学会会員、婦人科腫瘍学会会員
- ③熊本出身で、佐賀大学卒です。結婚して子供ができたことを機に鹿児島に来ました。今は子供は中学2年生の女の子と小6の男の子となります。

お産は女性にとって大事なイベントで、一回一回が決して負けられない真剣勝負として頑張っています。

地域の人々に頼りにされるようにがんばりたいと思います。婦人科としても幅広く対応し、がんの早期発見に努めたいと思っています。

④施設が新しくキレイであること、スタッフの人柄が穏やかで患者さんに対する思いやりがあります。



【循環器内科 医師】

くまもと けんご
隈元 健吾

- ①内科、循環器内科
- ②内科専門医、循環器専門医、日本心血管インターベンション治療学会認定医
- ③鹿児島医療センターから異動して参りました。主にカテーテル治療に従事してきました。2月に子どもが生まれたばかりなので子育てと両立して頑張りたいと思います。
- ④建物が新しい、医局の垣根が低い。

どんな心音も聞き分けられます！



【消化器外科 医師】

おおかわ まさし
大川 政士

- ①消化器外科
- ②日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医、日本内視鏡外科学会技術認定医
- ③四姉妹の父です。趣味はフットサルです。こんな体格ですが、現役でリーグ戦に出場しています。
- ④スタッフの皆さんがあたり前のように働いてくれています。

外科の事は任せし！



【外科 医師】

まきすみ けんろう
牧角 顕郎

- ①消化器外科
- ②がん緩和研修修了
- ③学生時代は、サッカーをしてました。趣味はスポーツ観戦です。
- ④先生方や職員の方々も親切で働きやすい病院です。



【総合内科 医師】

はまびら ひでよ
濱平 秀代

- ①心療内科
- ②内科専門医
- ③昨年度は内之浦の病院に勤務していました。久しぶりの大きな病院での勤務なので、少し緊張していますが尽力して参ります。また、私事ですが近々産休に入りますので、復帰後に改めてよろしくお願いいたします。
- ④スタッフの皆さんがとても優しいところ。



【小児科 医師】

せき しゅんじ
関 俊二

- ①小児科・小児循環器
- ②小児科専門医、小児循環器専門医
- ③医療はもちろん、スポーツや楽器、家事育事に趣味などあらゆるものに全力投球！
ちなみに薬剤師免許も持っています。
- ④魅力的な加世田の街を見守るように建っているこの病院はとても働きやすくて大好きになりました。

溢れる愛をお届けします



連携医療施設の御紹介

特別養護老人ホーム金峰苑

「その人らしい暮らし」を支え、地域とともに歩む

◎南薩地域の現状と今後の展望について
かがでしようか？
超高齢社会を迎えた現在、介護を必要とする方は増え続ける一方で、福祉を支える人材の確保は年々難しくなっています。また、コロナ禍を経て高齢者の孤立や地域のつながりの希薄化が進み、人々との支え合いの大切さを改めて実感しています。こうした時代だからこそ、医療・介護・福祉がそれぞれの役割を果たしながら、地域全体で高齢者を支えていく仕組みが必要であると考えています。私たちは介護サービスを提供するだけでなく、ご利用者様やご家族の安心を支える存在でありたいと願っています。地域の皆さまが住み慣れた場所で安心して暮

◎金峰苑の特徴について教えてください
金峰苑は、特別養護老人ホームとして「従来型」と「ユニット型」の両方を備え、ご利用者様やご家族の希望に応じた生活環境を選択できることが特徴です。従来型では多くの方との交流を楽しみながら家庭的な雰囲気の中で過ごしていただけます。一方、ユニット型では完全個室を基本とし、一人ひとりの生活リズムや価値観を大切にされた個別ケアを提供しています。また、デイサービスやホームヘルプサービス、居宅介護支援事業所などの在宅サービスも展開し、住み慣れた地域での暮らしを支えています。居宅介護支援事業所には4名のケアマネージャーを配置し、介護に関する不安や急な環境変化にも迅速に対応できるよう努めています。私たちは「その人らしい暮らし」を大切にしながら、地域に寄り添う福祉サービスを目指しています。

◎最近の事業所の動きや取り組みについて
お聞かせください
近年は「人材確保・育成」と「ケアの質向上」を両輪として取り組んでいます。若者の採用や育成に積極的な企業として認定される「ユースエール認定」を平成29年度から継続して更新しており、職員が安心して長く働ける職場づくりを進めています。職員が安心して働けることが、ご利用者様への質の高いケアにつながると思っています。また、ICTの活用による業務効率化を進め、記録業務等の負担を軽減し、ご利用者様と向き合う時間を増やしていきたいと考えています。さらに、ターミナルケアにおけるご家族の宿泊環境整備や、外出・外泊支援の充実にも取り組んでいます。人生

◎薩南病院との連携について教えてください
職員の健康管理をはじめ、入居者様の通院透析や入院時の調整、緊急時の相談など、薩南病院には日頃から多方面でご支援いただいております。特に地域医療連携室の皆様には、いつも親身にご対応いただき、医療と介護をつなぐ大切な架け橋として支えていただいております。また、認定看護師の研修会は、職員の知識と実践力向上に大きく貢献しており、心より感謝申し上げます。医療と介護は切り離すことのできない関係です。ご利用者様やご家族が安心して生活を続けられるよう、今後も地域のパートナーとして連携を深めてまいります。

◎最後に地域の皆さんへメッセージをお願いします
私たちは地域包括ケアシステムの一員として、施設介護・在宅介護・医療との連携を大切にしながら、地域のお困りごとに関わり添ってまいりました。住み慣れた地域で安心して暮らし続けたいその願いを支えることが私たちの使命です。これからも地域の皆さまに信頼され、「困ったときは金峰苑に相談してみよう」「金峰苑があつて良かった」と感じていただける施設を目指し、職員一同、笑顔と真心をもって歩み続けてまいります。



社会福祉法人 光陽会 特別養護老人ホーム金峰苑
◎住所：〒899-3511 南さつま市金峰町宮崎4019
◎TEL：0993-77-0500

イベント活動報告

県主催感染症訓練

1月20日、県主催による感染症危機管理対応訓練が開催されました。
鹿児島県感染症対策課が中心となって実施し、鹿児島大学病院感染症専門医の川村英樹先生がオブザーバーとして参加されました。訓練では、新型コロナウイルス感染症が発生したことを想定し、行政・保健所・消防・医療機関が連携して患者を受け入れるまでの一連の流れを確認する実動訓練を実施しました。関係機関との情報共有や役割分担を再確認するとともに、有事に迅速かつ適切な対応ができる体制づくりの重要性を改めて認識する機会となりました。

1/20



中学生職場体験

南さつま市キャリア教育推進委員会の事業の一環として、毎年中学生を対象とした職場体験を実施しております。今年は加世田・万世・金峰の3中学校から参加希望がありました。検査部・放射線部・薬局・看護部・透析室など、様々な医療現場を見学・実地体験していただきました。体験後にいただいたお手紙には、「将来は医療職を目指したい」との声も寄せられ、医療への興味や将来の進路を考えるきっかけになった事が伝わってきました。地域医療を担う未来の仲間として、いつか一緒に働ける日を職員一同楽しみにしています。

5月



県主催防災訓練

5月24日に県が主催する総合防災訓練が南さつま市で実施され、当院も大規模災害時に中心的な役割を担う災害拠点病院として訓練に参加しました。
訓練では、地震により南さつま市内で多数の傷病者が発生したとの想定のもと、多数の患者を受け入れ、重症度や緊急度に応じて治療や搬送の優先順位を決めるトリアージや、入院先を調整する訓練などを実施しました。
今後も災害時に迅速かつ的確な医療が提供できるよう、訓練を積み重ねてまいります。

5/24



今年度の砂像

毎年、南さつま市役所のボランティアの皆さまにご協力いただき、当院正面玄関へ砂像を制作していただいています。今年の砂の祭典のテーマは「お城」です。宇宙服をまとった当院マスコットキャラクター「さつニヤン」がロケットとともに宇宙へ飛び立ち、月にそびえるキャッスル（城）を目指す姿が表現されています。人類の宇宙開発が大きく前進する時代をイメージし、「未来への挑戦」と「発展・希望」への願いが込められた作品です。ご来院の際は、ぜひ足を止めてご覧ください。

6/11



薩南っ子ページ

当院でご出産されたママさんとパパさんに、出産について今のお気持ちを聞かせていただきました。

質問内容

- Q1：薩南病院を選んだ理由
Q2：お産や入院中で、印象に残っていること
Q3：赤ちゃんに会えたときの気持ち

【Aご家族さま】

Q1. 里帰り出産を希望していたなかで、実家からも近く、県立病院ということで安心して出産にのぞめると思ったため。

Q2. 急な帝王切開が決まり、私自身がとても不安に感じていましたが、先生や助産師さんが優しく丁寧に



よりそってくださり、身をまかせることができました。お産後も優しくケアしていただき、安心して過ごせました。たくさんのサポート、アドバイスありがとうございました。

Q3. お腹の中で元気いっぱい動いていた子が、無事に生まれてくれて、大きな声で泣いてくれた瞬間は安心と安堵とやっと会えた嬉しさでいっぱいでした。

これからもこの子とたくさんの思い出を作り、大切に育てていきたいと強く思いました。

【Bご家族さま】

Q1. 家から通える距離だったので。

Q2. 1人目より、大変で時間がかかったのですが、下から産めて、無事健康で元気な赤ちゃんを産めたので良かったです。

Q3. やっと出てきてくれたと思いました。



みっちゃんのおすすめ本

このコーナーは、本好きの『みっちゃん』のおすすめ本を紹介するコーナーです。図書館で本を選ぶ際などにぜひ、ご参考にしてください。

みっちゃんとは
架空のカフェ薩南の
マスターで趣味は本を
読むこと



子どもの頃から本が好きで、これまでたくさん本を読んできました。特にジャンルへのこだわりはなく、「面白そう」と感じた本を手にとることが多いです。

今回は、久しぶりに鳥肌が立つほど驚かされた一冊をご紹介します。杉井光さんの『世界でいちばん透きとおった物語』です。杉井さんの作品を読むのは初めてで、タイトルからは『君の臍臓をたべたい』のような爽やかな青春小説を想像していましたが、実際は、作家である父の遺作をめぐるミステリーでした。物語の最後には大きな仕掛けがあり、思わず読み返して確認し、「えーっ！」



と声が出てしまいました。本当にこんなことが可能なの！。帯に書かれた「電子書籍化絶対不可能！」という言葉がヒントですが、これ以上はネタバレになるので控えておきます。ぜひご自身で体験してみてください。ほかに、今回、私にとって初見の作家さんの作品で面白かった本をいくつか紹介します。



「木挽町」は、永井紗耶子さんの『木挽町のあだ討ち』です。第169回直木賞受賞作で、映画化もされています。あだ討ちをめぐる真相が少しずつ明らかになっていく時代小説で、なぜタイトルが「仇討ち」ではなく「あだ討ち」なのか、その意味にも注目です。読後には爽やかな余韻が残る一冊でした。ふたつ目は、真藤順丈さんの『宝島』です。第160回直木賞受賞作で、映画化もされています。戦後の沖縄という混乱の時代を舞台に、理不尽な現実の中でも力強く生きる若者たちの姿に胸を打たれました。私自身、うっすらとしか知らなかった戦後沖縄の歴史や現実について考えさせられる作品でした。作中に登場する「うちなーぐち（沖縄方言）」も興味深く、作品の魅力をより深めています。



みっちゃん、西尾潤さんの『愚か者の身』「愚か者の疾走」です。SNSを利用した戸籍ビジネスに巻き込まれていく若者たちと、その先に待つ闇を描いたクライム小説です。現代



社会が抱える問題を鋭く描いており、高校生や大学生など若い世代にもぜひ読んでほしい作品だと感じました。ネット犯罪の恐ろしさについて考えるきっかけになるかもしれません。



最後に紹介するのは、私の好きな作家、原田マハさんの『黒い絵』です。原田さんは、美術を題材にした作品で知られるほか、恋愛小説や旅行記、エッセイなど幅広いジャンルで活躍されています。

その多くは明るく前向きな作風ですが、『黒い絵』ではエロスや殺意といった人間の深い感情が描かれており、これまでとは異なる原田さんのもう一つの顔の初見となりました。 「忙しくて本を読む時間がない」と思っている方も多かもしれません。しかし、ほんのわずかな時間でも本を開いてみると、意外とたくさん読めるものです。ぜひお気に入りの一冊を見つけてみてください。

令和8年5月24日、鹿児島県総合防災訓練が南さつま市で実施され、当院でも大規模災害訓練を行いました。今回は地域の皆様により実践的な訓練となりました。ありがとうございます。

薩南病院は南薩地区（南さつま市・枕崎市・南九州市・指宿市）唯一の災害拠点病院です。災害時には南薩地区の中心となり、傷病者の受け入れや必要に応じた広域搬送などを担います。そのため毎年1回大規模災害訓練を実施し、地震発生時の対応手順を確認しています。（今年度の訓練は終了しましたが、来年度はぜひ見学に越してください。）災害発生時には病院は災害モードへ切り替わり、1階に災害対策本部が設置されます。病院内や来院傷病者、南薩地区・鹿児島県の被害状況などの情報を集約し、それらを基に病院運営を検討します。災害対策本部では院長・副院長・看護部長などが指揮を執ります。地震などで多数の傷病者が発生した際にはトリアージを実施します。緊急群（赤）、準緊急群（黄）、非緊急群（緑）、死亡（黒）に分類し、「今治療しなければ命に関わる方」を優先して治療します。

一方、非緊急群の方は院内の混乱を防ぐため病院外で待機・治療

となります。「けがをした」「おなかが痛い」など歩いて来院できる方は、院内へ入れない場合があることをご理解ください。今回の当院の訓練参加者は32人でした。休日は外来が休診で職員も少なく、遠方から通勤する職員は参加が困難になります。限られた人員での訓練は今後も重要です。また、「自院だけでは対応できない」想定のもと、県内のDMATが応援に駆け付け、当院から鹿児島市内への患者搬送も実施しました。受け入れ・治療・搬送までの一連の流れを確認できた有意義な訓練となりました。当院にはDMATチームも配備されています。今後

も「災害が発生しても薩南病院があるから安心」と地域の皆様信頼される病院を目指してまいります。



DMAT本部では、管理者が結集し、院内の病床調整や地域からの傷病者受入れについて調整・指揮を行います。

編集後記

編集後記を書いている今は、雨の日が増え、紫陽花が美しく咲く梅雨の季節です。まつかぜが発行される頃には、暑さの厳しい毎日になっていることと思いますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。県立薩南病院も新年度を迎え、早くも3か月が経ちました。新しい仲間を迎え、フレッシュな風とともに新たな一歩を踏み出しています。当院では、今年5月より小児科外来診療日を拡充し、6月には形成外科外来（月2回）を開設、7月からは禁煙外来も再開しました。今後も、より良い医療の提供と地域医療のさらなる充実に努めてまいります。さて、今回のまつかぜでは、どのような記事に興味を持っていただけたでしょうか。新任医師や新規採用職員の紹介、小児科医師および外来の紹介、「知って得する医療情報」では、ペースメーカー装着患者にも対応可能なMRIの導入について掲載しました。また、イベント活動やDMAT活動も紹介しています。イベント活動でもご紹介しましたが、鹿児島県主催の総合防災訓

練に、薩南病院は災害拠点病院として参加しました。さまざまな関係機関と連携し、災害発生時にも迅速に医療を提供できるよう、日頃から備えてまいります。また、昨年度に引き続き、「薩南つ子」「連携医療施設の御紹介」「みっちゃんのおすすめ本」も掲載しています。スマートフォンなどで情報に触れる機会が増えていますが、この機会にぜひ本を手に取り、ゆっくりと読書を楽しんでみてはいかがでしょうか。毎年、どのような記事を掲載したらいいか、広報委員で内容を検討しています。「こんな記事が見たい」「病院のこんなところを知りたい」など、ご意見やご要望がございましたら、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。最後になりましたが、取材にご協力いただいた皆様心より感謝申し上げます。そして、まつかぜを手にとって最後までお読みいただき、誠にありがとうございました。次号のまつかぜも、どうぞ期待ください。

検査室 園田

本誌をご覧いただき、ありがとうございます。今後の病院広報誌づくりの参考とするため、内容についてのご意見・ご感想をお聞かせください。皆さまの声を、より良い広報誌づくりに活かしてまいります。スマホ等でこちらのQRコードからアンケートの御協力をお願い致します。

